

新友会政策モニター研修会開催

令和4年(2022年)11月27日(日)
長野ホテル犀北館にて

新友会では、政策立案・調査・審議等の活動をより活発にするにあたり、恒常に市民の意見を聴くための制度として政策モニター制度を設けております。新型コロナウイルス感染症の影響により、7月の開催は見送りましたが、今回、荻原市長のご講演ということもあり、感染対策の一環として、予定していた議員との意見交換会の時間を割愛させていただき、その分、講演時間と質問時間をしっかりと確保し開催させていただきました。

荻原市政が誕生して約1年。ご自身が選挙で掲げられた政策のこれまでの達成状況や、今後、市民の皆様と共に向かう長野市の方向について、熱く語っていただきました。

また、講演会終了後、若者や子育て中の方への支援や、若手の農業従事者との懇談の機会への要望のほか、地域のコンテンツや自然の資源などの情報発信に関する質問が出され、市長から現状の説明や要望への回答がありました。

講演会 演題／挑戦! 世界一暮らしやすいまちをめざして



講師／長野市長
おぎわら けんじ
荻原 健司氏

●講師略歴

1969年群馬県草津町出身
元スキーノルディック複合選手
1992年アルペールビル、1994年リレハンメルの冬季オリンピック複合団体2連覇
ノルディック複合ワールドカップ個人総合3連覇

参議院議員1期、公益財団法人長野県スキー連盟副会長、長野県教育委員会委員、公益財団法人長野県スポーツ協会理事など歴任
令和3年11月長野市長就任



講演会の様子

議員定数削減の提案 ～市民第一主義の新友会～

長野市議会の議会活性化検討委員会は、昨年12月16日に、議会の議員定数についての報告書を議会運営委員会に提出しました。

報告内容は、我が新友会は39名の定数を3減で36名とする提案をしましたが、公明党と改革ながの市民ネットも3減に同意、共産党は現状維持でした。そのため、報告書は削減と現状維持の両意見があつたとの報告となりましたが、各会派の議員数構成を考慮すれば、削減が議会での多数意見となります。

議員定数削減の実行は、まずは議会運営委員会で全員一致が必要ですが、このままの状態なら委員会での合意に至りません。

そこで新友会は議員定数削減の条例改正案を議員提案として議会に提出し、他会派と協力して3月定期議会で実現してまいります。

新友会は、市民の皆さまのご意見をお待ちしております。
ご遠慮なく、右記にご連絡ください。

〈発行所〉
長野市議会 新友会 〒380-8512 長野市大字鶴賀町1613番地 長野市役所第一庁舎7F
〈発行責任者〉
三井 経光 TEL.026-226-4911 (内線3931) FAX.026-229-6386
E-mail:shinyu@mx1.avis.ne.jp ホームページ:https://shinyukai-nagano.com/



新春号
2023年1月
発刊

ごあいさつ

市民の皆様方には、新友会に対し格別のご支援を賜り、所属議員一同、感謝を申し上げます。

コロナ禍の下、ロシアのウクライナ侵攻の長期化により原油価格の高騰や、大幅な円安の進行による急激な物価上昇は、各家庭においても燃料費を始め電気代や各商品価格も値上がり、日常生活に大変な影響を与えております。

その様な状況下において、我が新友会は議会の約半数を占め、市民の皆様のため、市政発展のため、各議員が一生懸命働いております。新友会は色々な意見がある中で、意見が一致すれば一挙に固まり、行政に要望し、行政も会派の要望が反映される中で、即実行できるものは、即実行していきます。私達会派は意思疎通が図られており、一体となって行政の推進を図っております。

各議員は市民の皆様のために、より良い市政を創るため、一生懸命働きます。議員であることを常に自覚し、自分の利益のためではなく、法に反することは一切やらない、常に市民の皆様のため働くことを心に置いて頑張っております。

何かありましたら会派の議員各自に申しつけください。誠心誠意働く所存でございます。

今年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会会長
三井 経光

ごあいさつ

皆様方には、日頃、新友会に対し格別のご支援を賜りますこと心より御礼申し上げます。

新年を迎えるにあたり、新友会議員一同、長野市ならびに地域のさらなる発展のために活動する決意を新たに致したところでございます。

新型コロナウイルス感染症は第8波が広がり、依然として社会経済活動が制限されている状況です。

その中にありながらも、長野市は市内活性化に向け様々な施策を以て発展に取り組んでおります。我々新友会も、市長とともに直面する市政の課題に鋭意取り組んでまいります。

急激な人口減少と少子高齢化が進む中、社会の変化に対応するためには、デジタル化・ICT化の推進は喫緊の課題です。

長野市は刻々と変化する時代の潮流に適切に対応するため、行政DXの推進やスマートシティNAGANOの実現に、行政の総力を挙げ積極的に取り組んでおります。

新友会は、市内各地域の政策モニターの皆様をはじめ多くの市民の皆様のご意見・ご要望をまとめ、市長に要望するとともに、所属議員一丸となって市政に反映できるよう全力で活動してまいります。

今年も引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新友会前会長
小泉 栄正



後列左より
西脇かおる グレート無茶 市川 和彦 松田 光平
宮崎 治夫 若林 祥 桜井 篤 加藤 英夫
箱山 正一

前列左より
手塚 秀樹 寺沢さゆり 小泉 栄正 小林 義直
三井 経光 西沢 利一 北澤 哲也 金沢 敦志
和田 一成 青木 敏明

将来を見据えた公共施設マネジメントの取り組みに向けた提言書を提出

将来の市民にとって必要な総量を確保する公共施設マネジメントの実現に向け、荻原市長に、「令和5年度予算編成に対する要望書」とともに提言書を提出いたしました。

提言の内容は下記のとおりです。



令和4年11月14日 提言書を提出

- 今後の施設の更新にあたっては、特に市民生活に欠かすことのできない福祉施設や義務教育に必要となる学校など、市が施設整備に責務を負うべきものについては、必要な総量を見極め確保すること。
- 観光施設や文化施設などの施設の更新については、ニーズや財政負担を把握した上で要否を慎重に検討するとともに、整備にあたっては、複合化や多用途化について検討すること。
また、利用が減少、あるいは不要となった施設については、共用化や転用について検討すること。
- 従来から無料としている施設については、適切な保全の観点からも利用者負担を導入すること。

令和5年度の予算要望の主な内容と、令和4年度予算要望で実現した主な事項については、中面をご覧ください。